

挾田中、善法寺、新善法寺、鍼博士、諸醫等、於小御所御禮アリ、又柳原家於常御所差筵ノ御禮アリ、  
 〔日次紀事一月〕二日 拜禮今日攝關家參内、則於内殿差筵上有拜禮、其所屬之家禮公卿、各出禁門、  
 其他不然、 九日 諸禮禁裏昨日今明日間被勘德日、年始之諸禮始、諸比丘尼、清華大臣、外様公卿、  
 ○中略 院中公卿殿上人、取次而出、凡禁裏近臣謂内々衆、其餘稱外様、諸門跡院中亦多被用此日僧徒中般舟三昧院、并清淨華院中松林院、  
 此兩僧雖爲白衣、依舊例而參内、近年泉涌寺西堂亦雖爲白衣或代住職而勤之、又八幡正法寺安養寺長講堂、著香衣而參内、此日天台諸門跡、或院家僧正上首一人、  
 於御前有高加持、高加持對内加持而稱之、非必高聲謂也、○中略、 凡此月自朔日至七日、被制僧尼并圓頂輩入禁門、

〔光臺一覽〕抑禁中肇春之御儀式、略、中二日三日之中、御德日を撰み、御衰日と云、五攝家之御禮參内之節は、御臺所御門より、長橋玄關左に見て、中門より南の御車寄へ昇殿被成、御家來分御門弟の公卿衆、中門之際迄一列に御出迎被成、默禮有之例也、尤前廉に御家門より御使者にて、幾日には參内被成旨例之通、御出迎可被進由、被仰遣御事也、平日之參内には、御出迎は無之候、年頭之砌計也、又御家門方之殿上人か諸大夫か、長橋玄關にて、其節從天子酒饌を被下御事なり、難有規模とかや、四日迄之内、俗親王家伏見、京極、有栖川、閑院四軒の御禮也、○中十三日迄之内、法親王、諸門跡方、院家總洛中の御禮也、日限は替れども、其衆中には御室仁和寺、大佛妙法院、栗田口青蓮院、今出川梶井圓融院、三井寺圓滿院、山科毘沙門堂御門跡、嵯峨大覺寺、岩倉實相院、一乘寺、竹内曼殊院、神樂岡聖護院、白川照高院、南山科勸修寺、南都一乘院、東山智恩院之宮、右は各宮門跡にて法親王宣下有之方々也、併時に隨ひ攝家より御相談の御事も有之、其代々其寺の格に拘らずして、攝家門跡の列に入給ひ、先途漸大僧正に任じ給ひ、格式ひくしと心得べし、其外攝家門跡には、醍醐三寶院、南都大乘院、山科小野隨心院、安井蓮花光院、上醍醐三准門跡、水本坊之報恩院、松橋理性院、釋迦院、此外叡山の學頭、三井の碩學、南都興福、東大、西大、法隆、元真、般若等之總代、諸門跡方之院家數多、大德妙心、輪番之住持、金地院の僧錄、五山之紫衣、泉涌寺、般舟院、二尊院、芝山寺等之住僧、淨土鎮